

常任委員会行政視察報告

文教民生委員会

◆視察月日 10月20日～22日

◆視察市 東京都中野区
静岡県島田市

静岡県袋井市

◆視察項目

子ども読書活動の推進
ひとり親世帯の状況と母子生活支援施設
サタデーオープンスクール
フツ素洗口
健康チャレンジ!!すまいる運動

◆母子生活支援施設

中野区の母子生活支援施設建替事業(鉄筋コンクリート3階建て)は、平成18年度から22年度までの事業期間で行った。新施設は20世帯を受け入れることができるほか、緊急一時保護や夜間一時保育用の専用室が設けられている。区ではこの建替事業を行うとともに、区内に居住するすべてのひとり親家庭の保護者を対象とした就労支援を行い、自立を支援するなど、ひとり親家庭への支援の充実を図っている。

◆フツ素洗口の取り組み

島田市のフツ素洗口は、学校等で行う「園・学校方式」と保健センター等の施設で行う「センター方式」の2方式で実施している。園・学校

方式のうち、幼児施設では実施を希望する施設がふえてきているが、学校ではカリキュラムの関係で時間の確保が難しいなどの理由により実施施設拡大が困難となっている。また、センター方式では継続的に保健センター等の施設に通わなければならないことから中断する子供が多くなっている。

◆健康チャレンジ!!すまいる運動

袋井市では、平成18年3月に袋井市健康づくり計画を策定し、運動と食事による一体的な健康づくりを促進している。具体的な取り組みとして同年8月から、実践した運動や食事の取り組みをポイント化し、公共施設等の利用券や学校、地域等への寄付などに使用できるポイント制度を導入した。また、21年度からは携帯電話で運動や食事の管理ができる取り組みも行うなど、より市民が取

り組みやすい制度を目指している。
(針金)

建設委員会

◆視察月日 8月25日～27日

◆視察市 北海道恵庭市
北海道岩見沢市
北海道小樽市

◆視察項目

恵庭市下水道処理施設整備事業
合併後の上下水道料金統一
下水道処理基本計画
緑の基本計画
公園、緑地の整備、維持管理

◆下水道処理施設

恵庭市の人口は本市と同程度の6万8000人だが、北海道の都市はインフラ整備が進んでいて、下水道整備率は98・8%となっている。職員は2名で、他は民間委託している。公営企業化するに当たって、下水道料金については事業の赤字、黒字に関係なく、住民の理解を得て、適切な料金にした方がよいとのことであった。

◆上下水道料金統一と下水道整備

岩見沢市は平成18年に3市町村の合併で新市となった。上下水道料金の統一は、合併後3年を目標に平成21年度に実施した。
下水道普及率92・2%が、合併で88・3%に低下したものの、普及率の高さに、本市も下水道整備の推進が待ったなしと感じた。



小樽市役所前にて

◆緑の基本計画・公園等整備維持管理

小樽市の人口は、昭和40年には20万人であったが、現在は約13万人で減少に歯どめがかかっている。中心市街地がさびれている様子に本市と同じ問題を抱えていると感じた。
平成16年に基本理念を「市民と育むみどりあふれる、ゆとりあるまち小樽」として、小樽市緑の基本計画を策定した。都市計画区域内の緑の面積割合は67%で、最も構成比の高いものは丘陵に広がる樹木地であった。

街区公園の維持管理は、町内会などが公園愛護会を組織し行っている。遊具やトイレの管理はリニューアルなどの課題も多く、民間委託やボランティアなど市民との協働を進めたいとの説明があった。
本市も公園のあり方の変化に、速やかに対応する必要があると感じた。
(信太)